

信州大学医学部附属病院 消化器外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年11月24日

「肝細胞癌術後短期/長期成績における EOB-MRI のバイオマーカーとしての有用性」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4952
研究課題名	肝細胞癌術後短期/長期成績における EOB-MRI のバイオマーカーとしての有用性に関する検討
所属(診療科等)	信州大学医学部外科学教室消化器・移植・小児外科学分野
研究責任者(職名)	野竹剛(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2024年3月31日
研究の意義、目的	肝細胞がんの患者さんにおいて、手術前におこなった造影 MRI の画像から計算した指標が、手術後の肝機能や手術後の再発の危険性を予測することが出来るかを検討する研究です。 本研究により造影 MRI 画像のバイオマーカーとしての有用性が示されることで、肝細胞がん患者さんに対する治療選択を適切に行うことが出来るようになり、安全な肝切除の確立ならびに手術後の治療成績の向上に寄与しうる可能性があります。
対象となる患者さん	2010年1月1日～2019年12月31日の期間に、信州大学医学部附属病院消化器外科において、肝細胞がんに対して手術を受けられた方。
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、術前MRI所見、術後肝不全の有無、再発の有無、手術から再発までの期間など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、手術前のMRI画像所見により肝切除後の肝機能を予測し得るかについて検討を行います。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 野竹剛(信州大学医学部外科学教室消化器・移植・小児外科学分野 助教) 電話: 0263-37-2654

過去の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。